

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年02月28日

計画の名称	歴史的街なみ環境整備と安全・安心な住環境の実現（中津川市地域住宅計画）														
計画の期間	令和02年度	～	令和03年度	（1年間）											
交付対象	中津川市														
計画の目標	『歴史的な街なみの整備によりまちの魅力アップするとともに、公営住宅等の整備事業により良好な住環境を整え、「安全・安心で住みよく誰もが訪れたいくなるまちづくり」を実現する。』														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		494	A	462	B	0	C	32	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		6.47	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）															
	定量的指標の定義及び算定式															
1	景観計画重点区域における修景整備件数を29件（H27）から39件（R2末）に増加															
	景観計画重点区域における建築物、建築設備、看板等の修景件数を調査する。 （目標とする修景整備の件数）＝（修景済みの件数）＋（計画する修景整備の件数）															
2	本町中山道地区における休日歩行者通行者数を320人／日（H27）から408人／日（R2）に増加															
	中山道における歩行者通行者数を測定する。 （目標とする中山道歩行者通行者数件数）＝（現在の中山道歩行者通行者数）＋（計画する中山道歩行者通行者数）															
3	中津川市における公営住宅の住環境向上を行った戸数の割合を13％（H27）から29％（R2末）に増加（地域住宅計画）															
	市内の公営住宅のうち、屋上防水及び外壁改修を実施し、長寿命化が図られた戸数の割合を調査する。 （公営住宅の改善割合）＝（屋上防水及び外壁改修を実施した公営住宅戸数）／（全公営住宅戸数）（％）															
4	耐震改修工事と併せて行うリフォーム件数を81件（H27）から125件（R2末）に増加（地域住宅計画）															
	耐震改修工事と併せて行うリフォームの件数を調査する。 （目標とするリフォームの件数）＝（リフォーム済みの件数）＋（計画するリフォームの件数）															
5	公営住宅に入居できない低所得世帯に対する民間賃貸住宅（空家）家賃補助の件数を0件（H27）から25件（R2末）に増加（地域住宅計画）															
	公営住宅に入居できない低所得世帯に対する民間賃貸住宅（空家）家賃補助の件数を調査する。 （目標とする家賃補助の件数）＝（家賃補助済みの件数）＋（計画する家賃補助の件数）															

備考等		個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
本計画は平成27年～令和2年の6カ年計画であり、定量的指標及び事業費は6カ年分を記載している。提案事業及び効果促進事業と全体事業費の割合は19.6％になる。（65+32）/494													

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）						全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06				
												一体的に実施することにより期待される効果								
備考																				
地域住宅計画に基づ く事業	A15-001	住宅	一般	中津川市	直接	中津川市	－	－	公営住宅等ストック総合 改善事業	既存市営住宅の安全性確保・ 居住性向上・長寿命化型改善	中津川市	■					321		策定済	
		令和2年度：事業実施 事業費71百万円																		
	A15-002	住宅	一般	中津川市	直接	中津川市	－	－	空家再生等推進事業	空き家対策推進特別措置法に 基づく空き家等対策計画策定 のための実態把握調査	中津川市	■					3		－	
		令和2年度：事業実施なし																		
	A15-003	住宅	一般	中津川市	直接	中津川市	－	－	【提案】危険住宅除却事 業	老朽した公営住宅等の解体除 去	中津川市	■					21		策定済	
令和2年度：事業実施 事業費3百万円																				
A15-004	住宅	一般	中津川市	直接	中津川市	－	－	【提案】危険民間家屋除 却事業	老朽した危険民間家屋の除去	中津川市	■					16		－		
	令和2年度：事業実施なし																			
A15-005	住宅	一般	中津川市	間接	個人	－	－	【提案】住宅リフォーム 補助事業	耐震改修に併せて行うリフォ ーム工事補助	中津川市	■					24		－		
	令和2年度：事業実施 事業費4百万円																			
A15-006	住宅	一般	中津川市	直接	個人	－	－	【提案】空家再生事業（ 家賃補助）	低所得世帯対象の民間賃貸住 宅（空家）家賃補助	中津川市	■					4		－		
	令和2年度：事業実施なし																			

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）						全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果 備考										R02	R03	R04	R05	R06				
											小計							389		
住環境整備事業	A16-007	住宅	一般	中津川市	間接	個人	－	－	街なみ環境整備事業	本町街なみ環境の整備、住宅 修景補助	中津川市	■						73		－
		令和2年度：事業実施なし																		
												小計						73		
											合計							462		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）						全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設設計 策定状況
		住宅	一般	中津川市	間接	個人	－	－	住宅等修景補助事業	建物等修景補助（本町以外）	中津川市	■	R02	R03	R04	R05	R06	10	－	－
住環境整備事業	C16-001	本町（中津川宿以外）の2宿（馬籠宿、落合宿）も併せて一体的に景観形成することで、中山道に沿って歴史ある街なみや景観を歩いて楽しむ観光客を本町にも呼び込むことできる。																		
	C16-002	住宅	一般	中津川市	間接	団体	－	－	緑化・景観活動等支援事業	植栽、花飾り活動等補助	中津川市	■						10	－	－
		街なみ環境の整備及び建築物等の修景と併せて、緑化・景観活動等を実施することにより、統一的なまちなみ景観を演出することができる。																		
	令和2年度：事業実施 事業費3百万円																			
	C16-003	住宅	一般	中津川市	直接	中津川市	－	－	文化財標柱・説明板等整備事業	標柱、説明板の整備	中津川市	■						5	－	－
		説明板等により中山道が設置された当時や宿場町が発展し歴史的景観が形成された背景等を来訪者に伝えることで、「誰もが訪れたくなるまちづくり」を推進することができる。																		
	令和2年度：事業実施 事業費1百万円																			
	C16-004	住宅	一般	中津川市	直接	中津川市	－	－	中山道古建築調査事業	建築物等調査	中津川市	■						1	－	－
		中山道の景観上のシンボルとなる建築物の保全を推進することで、中山道に沿って歴史ある街なみや景観を歩いて楽しむ観光客を本町にも呼び込むことができる。																		
	令和2年度：事業実施なし																			
C16-005	住宅	一般	中津川市	直接	中津川市	－	－	景観計画見直し事業	景観活動の位置づけ等	中津川市	■						6	－	－	
	街なみ環境整備事業により整備された中山道沿道地区について、団体等における景観活動のあり方等を位置づけ、支援することで中山道沿道景観の魅力を更に高めることができる。																			
令和2年度：事業実施なし																				
											小計						32			
											合計						32			

事後評価		
○事後評価の実施体制、実施時期		
事後評価の実施体制 中津川市リニア都市政策部で評価を実施	事後評価の実施時期	
	令和4年1月31日	
	公表の方法	中津川市公式ホームページで公表
○事業効果の発現状況		
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・街なみ環境整備事業（住宅修景補助）の働きかけにより、最終目標値を超える修景整備を行った。 ・街なみ環境整備事業ならびに効果促進事業によって景観重点区域内の魅力を高め、歩行者数の増加につながった。 ・公営住宅長寿寿命化計画にもとづき個別改善（長寿命化）事業を実施し、最終目標値以上の改善を行った。 ・別計画の耐震診断啓発のローラー作戦や耐震改修工事（補助）と併せリフォーム補助を実施し、件数が増加した。 ・公営住宅の空き物件を積極的に紹介し、入居を促したことにより公営住宅の入居率が高まり、その結果低所得世帯に対する民間賃貸住宅への家賃補助を必要としなかった。	
	定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	・中山道の沿道一体で修景ならびに緑化活動等を実施したことによって中山道の魅力が向上し、基幹事業で実施した本町エリアへの来訪者が増加した。
○特記事項（今後の方針等）		
・地域住宅計画にもとづき公営住宅ストック総合改善事業について、長寿寿命化計画にもとづき新たな地域住宅計画を作成し、引き続き良好な居住環境の整備とストックマネジメントに努めるほか、本町エリアの緑化景観活動等支援事業ならびに住宅リフォーム補助事業については他計画に位置づけを行い、事業を継続していく。		

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	(目標とする修景整備の件数) = (修景済の件数) + (計画する修景整備の件数)		広報への掲載など修景事業の働きかけにより、実施件数が増えたため。
	最終目標値	39件	
	最終実績値	45件	
2	(目標とする中山道歩行者通行者数) = (現在の中山道歩行者通行者数) + (計画する中山道歩行者通行者数)		街なみ環境整備を実施した街道への観光客や住宅修景事業を活用した店舗等を利用する歩行者が増えたため。
	最終目標値	408人/日	
	最終実績値	526人/日	
3	(公営住宅の改善割合) = (屋上防水または外壁改修を実施した公営住宅戸数) / (全公営住宅戸数) (%)		公営住宅長寿命化計画の更新に伴い、長寿命化の対象として新たに加えた団地の改修事業を実施したため。
	最終目標値	29%	
	最終実績値	35%	
4	(目標とするリフォームの件数) = (リフォーム済の件数) + (計画するリフォームの件数)		地域住民に対し、耐震補強工事ならびにリフォームの働きかけを積極的に実施したため。
	最終目標値	125件	
	最終実績値	150件	
5	(目標とする家賃補助の件数) = (家賃補助済の件数) + (計画する家賃補助の件数)		入居希望のあった低所得世帯に対する受け入れについて、公営住宅で全てカバーができたため。
	最終目標値	25件	
	最終実績値	0件	

(樣式3) 社会資本總整合整備計画

[illegible]